

2025.11

Vol.96



群馬県高山村議会

Vill-Takayama Council NEWS

TsuNaGu

議 会 広 報 つ な ぐ



Focus_01

特集 こう使われた！
令和6年度決算

Focus_02

第3回 定例会
質疑・PICKUP！

Focus_03

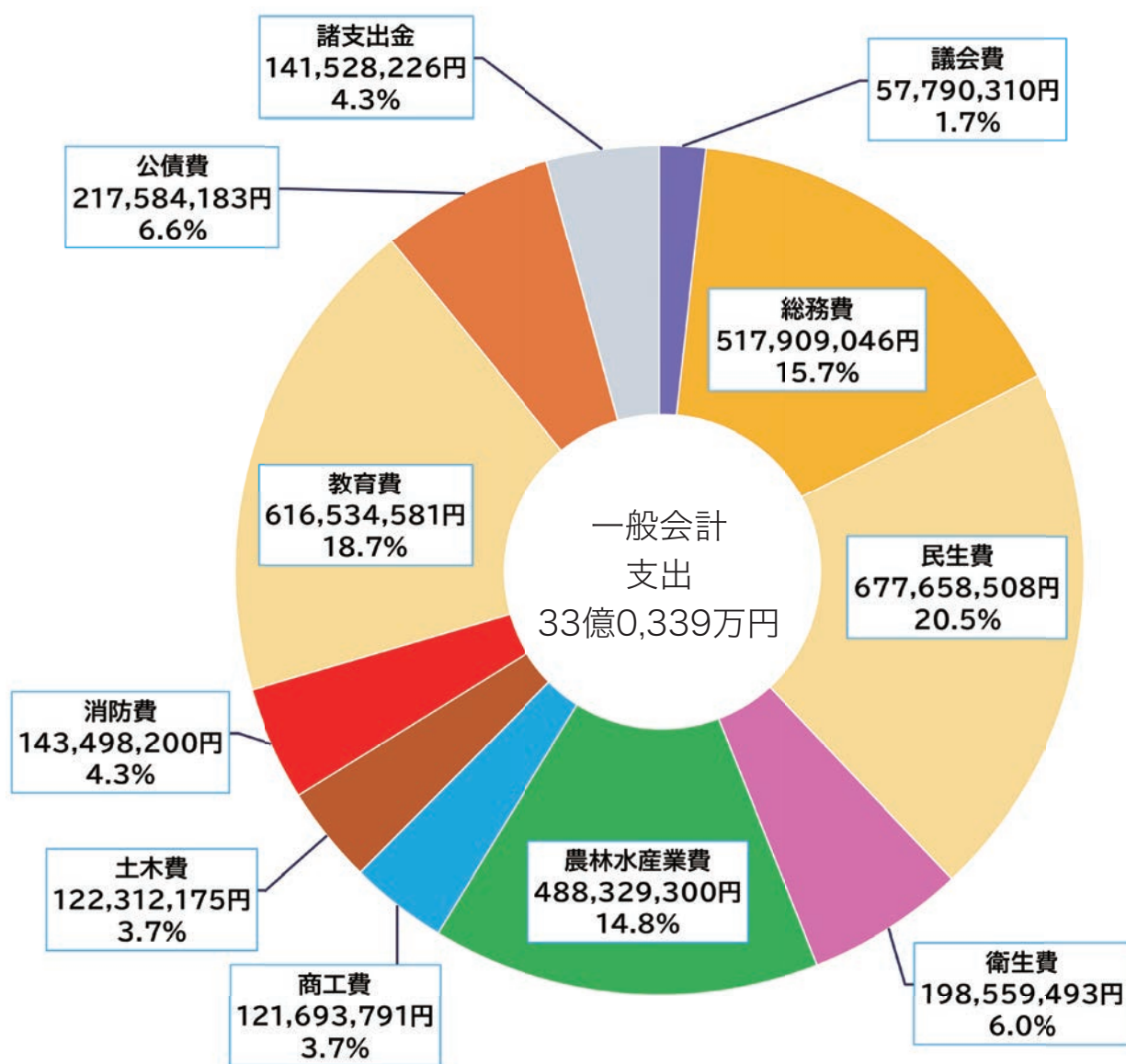
村長にきいてんべえ！
5名が一般質問

決算 審査

こう使われた!!

今回の定例会では「令和6年度・決算審査」を行いました。
特集では主に一般会計支出の中で、どのような事業に使われたのか、ピックアップしてお知らせします。

一般会計支出※総額は 33億0,339万7,813円



※国や地方公共団体における歳入（さいにゅう）とは「1会計年度」の「収入」全般を、
歳出（さいしゅつ）とは「1会計年度」の「支出」全般を指します。分かりやすく表記
するため、今回は「歳出」を「支出」と言い換えてあります。

令和6年度 村の事業

埋蔵文化財 発掘調査業務委託

1億8,095万0,000円

昨年度の繰越事業として、埋蔵文化財
発掘調査事業を行った

治山林道管理事業

3,833万3,405円

県単林道事業

2,384万8,000円

森林の公益的機能保全のため、山林法
面や林道の崩壊を未然に防ぐ主要林道
整備を行った

五領地区

団地造成事業

1,208万1,440円

新規に五領地区に宅地造成団地（約
4,500㎡）を整備するための基本設計
業務委託等を行った

消防団第3分団

施設集約工事

1,032万5,000円

消防団分団集約のため、第3分団消防
車庫の新築工事等を行った

小学校

スクールバス購入

769万3,800円

小学校スクールバス（26人乗り）を
更新した

議会DX活用事業

タブレット導入

480万8,056円

議会11台、執行部11台、計22台のタ
ブレット導入でDX活用に取り組む

福祉バス新車両導入

395万0,000円

事前予約制福祉バス運行のため、7人
乗りの車両を導入した

高山村

第6次総合計画策定

289万5,930円

村づくりの指針となる「高山村第6次
総合計画」を策定した

令和7年
第3回
定例会

令和6年度 各決算を認定



発掘調査で出土した土器・土偶



群馬県初のGI登録となった高山きゅうり

令和7年第3回定例会は9月3日から16日までの14日間の日程で開催されました。提出された議案は全て「可決」されました。

9月3日（水）

午前10時開会

定例会初日に可決された議案、報告は次のとおりです。

午前中の本会議散会后、全議員で議案調査（審査）を実施しました。

委員会報告

◇高山小学校・中学校現況視察報告（総務文教常任委員会）

【→委員会報告でくわしく（13頁）】

決算審査意見書概要報告

監査委員より令和6年度高山村一般会計、特別会計及び公営企業会計歳入歳出決算意見書の概要報告がありました。

【→決算審査意見書・概要報告（7頁）】

報告

報告第4号

◇令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

実質公債費比率は7.8%で早期健全化基準25%を大きく下回っています。その他の比率は算定されず健全な財政状況でした。土地開発事業は資金不足比率は算定されず健全な財政状況でした。

報告第 5 号	◇株式会社たかやま振興公社の経営状況について 令和 6 年度の純利益は 61 万 3,000 円の黒字であることが報告されました。 昨年度に引き続き、令和 6 年度においても、債務超過法人になったため、経営状況報告と併せて、経営健全化方針の報告がありました。
---------	---

補正予算（専決処分）

可決

承認第 4 号	◇専決処分の承認を求めること（令和 7 年度一般会計補正予算（第 2 号）） 農作物被害（野生動物による）対策事業補助金ほか 1 事業を専決処分
---------	---

人 事

可決

同意第 3 号	◇高山村教育委員会委員の任命について 9 月 30 日をもって林嘉彦さんが任期満了を迎えますが、引き続き任命したいというもので、適任者であると認め同意しました。 任期は令和 7 年 10 月 1 日から令和 11 年 9 月 30 日までの 4 年間となります。
同意第 4 号	◇高山村固定資産評価審査委員会委員の選任について 9 月 30 日をもって佐藤章彦さんが任期満了を迎えますが、引き続き選任したいというもので、適任者であると認め同意しました。 任期は令和 7 年 10 月 1 日から令和 10 年 9 月 30 日までの 3 年間となります。

本会議散会后、全議員で議案調査（審査）を実施しました

9 月 4 日（木）

午前 10 時開会 一般質問が行われ 5 名が登壇しました
本会議散会后、全議員で議案調査（審査）を実施しました

9 月 5 日（金）

全議員で議案調査（審査）を実施しました

9 月 8 日（月）

全議員で議案調査（審査）を実施しました
午前 11 時より、農林建設常任委員会を実施しました
午後 1 時より、議会広報特別委員会を実施しました

9 月 9 日（火）

～ 12 日（金）

個別に議案調査を実施

本会議での議案採決結果について

全会一致で可決したものについて、議員それぞれの賛否結果は掲載を省略します。賛否が分かれたもの（欠席者がいた場合は、その表記）についてのみ、各議員の賛否結果をお知らせしていきます。
なお、人事議案については「無記名投票」のため、可否のみの掲載となります。

9月16日（火）

午前10時開会

定例会最終日に可決された議案、報告は次のとおりです。

条 例

可決

議案第 39 号	◇高山村印鑑条例の一部改正について
議案第 40 号	◇高山村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第 41 号	◇職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
議案第 42 号	◇高山村税条例の一部改正について 【→本会議質疑で詳しく（8頁）】
議案第 43 号	◇上州高山ふるさと寄附条例の一部改正について
議案第 44 号	◇高山温泉いぶきの湯の設置及び管理に関する条例の一部改正について

補正予算

可決

議案第 46 号	◇令和 7 年度 一般会計補正予算（第 3 号） 補正額 マイナス 8053 万 4,000 円 予算総額 34 億 6,057 万 4,000 円
議案第 47 号	◇令和 7 年度 国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） 補正額 + 88 万円 予算総額 4 億 9,559 万 1,000 円
議案第 48 号	◇令和 7 年度 介護保険特別会計補正予算（第 2 号） 補正額 + 147 万 2,000 円 予算総額 5 億 0,092 万 7,000 円

契 約

可決

議案第 49 号	財産の取得について 高山高原牧場・タイヤローダのリース
議案第 50 号	G I G A スクール端末購入について
議案第 51 号	高山村五領下ノ宿第 2 団地宅地造成工事の請負契約について

補正予算

可決

認定第 1 号	◇令和 6 年度 一般会計 歳入歳出決算認定について 【→本会議質疑で詳しく（8頁）】
認定第 2 号	◇令和 6 年度 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について
認定第 3 号	◇令和 6 年度 後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算認定について
認定第 4 号	◇令和 6 年度 介護保険特別会計 歳入歳出決算認定について
認定第 5 号	◇令和 6 年度 土地開発事業特別会計 歳入歳出決算認定について
認定第 6 号	◇令和 6 年度 農業用水事業特別会計 歳入歳出決算認定について
認定第 7 号	◇令和 6 年度 簡易水道事業会計 歳入歳出決算認定について
認定第 8 号	◇令和 6 年度 水をきれいにする事業会計 歳入歳出決算認定について

決算監査意見書報告概要

代表監査委員 野上 一夫

監査委員 平形富二夫

審査に付されました令和6年度高山村一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び公営企業会計決算関係諸表について、関係法令に準拠して正確に作成されているかどうかを主眼として審査を行いました。

審査の結果、一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、調書類及び公営企業会計決算関係諸表は、関係法令に準拠して作成されており、その係数は関係諸帳簿等と照合した結果、誤りのないものと認められ、予算の執行及び関連する事務処理は、適切に行われているものと認められました。

決算規模（資料抜粋）

区 分		一般会計	特別会計	合 計
歳 入	決算額	3,539,963,101	1,070,608,830	4,610,571,931
	重複控除額※	5,994,828	173,377,646	179,372,474
	純計決算額	3,533,968,273	897,231,184	4,431,199,457
歳 出	決算額	3,303,397,813	1,037,804,225	4,341,202,038
	重複控除額※	173,377,646	5,994,828	179,372,474
	純計決算額	3,130,020,167	1,031,809,397	4,161,829,564
差引残額	決算額	236,565,288	32,804,605	269,369,893
	純計決算額	403,948,106	△134,578,213	269,369,893

※重複控除額とは

「一般会計と特別会計（公営事業会計を除く）を合わせたもの」の決算額を算出する際、会計間の繰り出し・繰り入れといった内部取引による重複分のことです。この重複分を差し引くことで、自治体全体の決算額（純計額）を算出します。



代表監査委員の意見（おすび）

人口減少や少子高齢化、耐震性能が低い役場庁舎の対応など、今後、厳しい行財政運営を強いられることは明らかであります。

限りある財源の中で、将来にわたり持続的・安定的な行財政運営及び村民福祉の向上を図るためにも、現行事業の必要性や効果を精査し、効果的な事業を計画的に執行することが必須であると考えます。

詳しい資料はこちらから

「令和6年度高山村一般会計、特別会計及び公営企業会計歳入歳出決算審査意見書」全文は、高山村のホームページに掲載しています。右の二次元コードよりアクセスください。



本会議 質疑



◆高山村税条例の一部改正

公示通達、ウェブの活用方法は？

渡邊裕治 他市町村ではウェブページに専用掲載場所を設けて実施している例があるが、検討しているか。

税務会計課長 他市町村と同様にホームページ内専用ページを設けるよう検討する。パソコンがない方でも閲覧できるよう、役場庁舎内に閲覧専用のパソコンを設置してご覧いただけるよう考えている。



役場前バス停待合所内にある公告用掲示板



本会議 質疑



◆令和7年度 一般会計補正予算

中学校玄関改修工事

工事が延期、減額補正の理由は？

山口英司 中学校生徒用玄関の改修工事、委託料の減額補正の理由は。

教育課長 令和6年度予算編成の際、令和6年度に小学校、令和7年度に中学校の玄関工事を行う計画で進めてきた。

本年6月の第2回定例会において役場庁舎整備方針策定支援業務が行われることになったため、整備方針決定後に中学校生徒用玄関改修工事を再検討させていただきたい。



今年度予算提出前に 財政統括との調整は？

渡邊裕治 今回の改修事業は過疎債を利用する予定であったが、減額補正について国・県などとの協議はおこなっているか。

総務課長 今回の減額分については、他事業量の増減等も加味して、12月に変更協議を検討することになっている。

渡邊裕治 過疎債の使い方もきちっと考えた上で今後検討していただきたい。



改修した小学校玄関（写真左）と中学校玄関



新規就農者支援は？

佐藤晴夫 地域おこし協力隊就農型で、新規就農者支援事業を利用される方がいるか。令和7年度に5名の方が協力隊を終わると思うが、この中で新規就農者支援事業を利用される方がいるか。

農林課長 今年度、就農型の地域おこし協力隊の任期満了を迎える隊員は5名だが、既に任期満了を迎え村外転出した隊員が1名いる。現隊員4名のうち、2名は補助金の交付を受ける予定で準備を進めている。

残り2名は補助金交付期間中の事務の煩雑などを理由に難色を示しているが、この資金活用について再度促していきたい。

佐藤晴夫 せっかく高山村に来たのだから、できれば高山村で新規就農し後継者として頑張っていたきたい。



就農型・地域おこし協力隊員

緑の県民税、用途は？

後藤 肇 本事業の趣旨は、管理団体が公益性の高い森林整備を行うこととしているが、現状はどうであったか。

農林課長 昨年度までは個人からの要望箇所を中心に、その周辺を含めた中で工区というかたちの団体で実施していた。今後は要綱の改正等もあり、人家周辺の里山や、道路脇などより公益性の高い場所を面的に集約したかたちの団体で実施していきたい。

後藤 肇 皆さんが公益性を受けられるような方策をとっていただきたい。

原地区に続く農地整備予定は？

飯塚武久 今後の農業の発展させていくためには、担い手の確保と農地の整備、これは必要不可欠だと思う。原地区に続く農地整備の予定があるのか。

農林課長 原地区に続く農地整備についてですが、群馬県の事業で、令和4年度に判形地区の整備構想が策定され、今年度、アンケート調査等を実施し、活用する事業の選定段階となっている。原第2地区については、今年度中の整備構想策定予定となっている。また、菅田原地区についても、推進委員による協議やアンケート調査の実施など、農地整備の実現に向けて進めている状況である。

飯塚武久 今後とも行政がしっかりしたサポート、また、先導できる体制を整えていただき事業の推進にあたっていただきたい。



農地整備前の状況



農地整備中の工事の様子

令和6年度重点施策、どう進めたか？

山口英司 むらの中心地づくりの確実な推進、脱炭素化事業に関すること、そして庁舎等の整備に関するについて、重点的に取り組むということであれば、東洋大学のPPP可能性調査報告を1年近くも放置せず、議会に報告の上、互いに検討を重ねるべきではなかったかと考える。

令和6年度先導的官民連携支援事業、脱炭素まちづくり事業について、考えを伺いたい。

地域振興課長 脱炭素まちづくり事業では、令和6年度に、カーボンニュートラル実現に向けた計画策定支援委託業務や、星空保護区申請準備委託業務、EV公用車の軽バン1台を導入し、そのリース料や充電器設置工事などを行った。

また、先導的官民連携支援事業では、東洋大学に委託して、道の駅・役場庁舎機能を有する新複合施設基本計画策定及びPPP導入可能性調査業務、その他、道の駅中山盆地における地質調査を行った。

この道の駅・役場庁舎機能を有する新複合施設については、今年1月～2月に行った住民説明会の結果を受けて、それぞれ個別に検討することとなった。



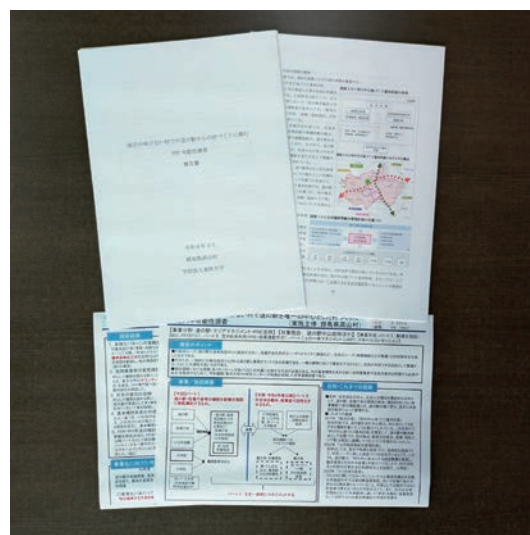
各地区で行われた住民説明会

この調査により得られた効果としては、地域課題の「見える化」や公共施設の現状と将来課題の認識等、問題点などを洗い出し検討できたと思う。

山口英司 いずれにしても、今までの取り組みについて、検討、あるいは反省をもって今後の役場庁舎等の整備について、活かしていただきたい。最後に村長から一言いただきたい。

村長 山口議員にあっては趣旨をよく理解していただいていたと思う。皆さんの同意が得られるよう検討して参りたい。

山口英司 今後においては、議会と執行部、両輪として議論を展開していかれたらと思う。



PPP可能性調査報告書（令和6年3月）

駐車場利用状況は？

佐藤晴夫 上毛高原駅5区画、渋川駅2区画の駐車場、皆さんが大変便利に利用している。年間の利用者は何人ぐらいいるか。

総務課長 令和6年度、上毛高原駅で1,273件、稼働率69.8%、渋川駅で303件、稼働率41.5%。コロナ禍には大分落ち込んだが、現在はコロナ禍前に戻ってきている。

保育所・児童館の傷害保険は？

平形富二夫 保育所と児童館の傷害保険はどのような保険なのか。

教育課長 けがや事故の補償として、公益社団法人全国私立保育連盟幹旋の傷害保険に加入している。賠償責任保険等については、村全体で全国町村会の総合賠償補償保険に加入しており、そちらでの対応となる。

保険の利用については、令和6年度は児童館で1件、令和5年度は保育所と児童館で各1件、令和4年度は児童館で1件保険金の申請を行っている。

地域活性化起業人、今後の展開は？

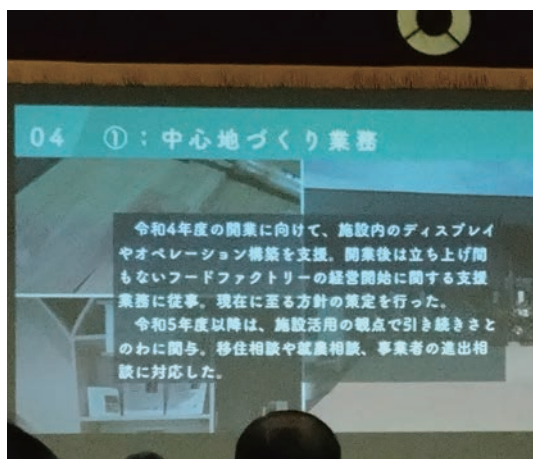
渡邊裕治 今日までの状況、また、今後の展開について伺いたい。

地域振興課長 むらの中心地づくり推進にあたり、専門的知見を有する地域活性化起業人2名で、事業展開を図ってきた。

今後は、空き家対策等における移住・定住コーディネートと連携し、不動産に知見のある地域活性化起業人を考えている。

渡邊裕治 3年間で1,500万円の事業である。村民が納得する事業の検証をお願いしたい。

また、村民に見える形で成果が出るような人材をお願いしたい。



報告会での様子（令和6年度）

サテライト・オフィスの活用は？

渡邊裕治 令和6年度当初使用料想定59万円を見込み、決算では9万円と、想定が甘かったのではないかと。ネットを介して詳細な情報を掲載すべきではないか。

地域振興課長 多岐にわたる活用を目指していたが、なかなか利用者が伸びていない。詳細な情報を閲覧できたり、予約についてもネットからできるように検討していきたい。

渡邊裕治 施設整備や管理事業などに公費を投入しているので、利用料収入を伸ばせるよう努力して欲しい。どうしても駄目であれば、その次を検討していただきたい。



たかやまサテライト・オフィス

アンケートは政策に反映？

渡邊裕治 こども計画策定にあたり、ニーズ調査や生活状況調査をアンケート手法により行っていた。しかし、回答率が3割から4割と低かった。この計画策定自体に影響があるのでは。

保健みらい課長 無いとは思いますが、今後は、策定した子ども計画を村民多くの子育て世帯の皆さんや中学生・高校生に参考にいただけるよう周知を図って参りたいと考える。

渡邊裕治 アンケート調査は政策に反映される訳なので、回答率アップのために、既存の手法に加えてウェブ回答など手法を検討していただきたい。



高山村こども計画（令和7年3月発行）

スクールバス、柔軟な運用は？

渡邊裕治 決算書では、スクールバス中山方面利用者が6名と非常に少ない状況である。

以前、柔軟な運用をして欲しいということで一般質問をした。この件については、令和7年1月に小学校PTA会長名で教育長に要望書が提出されている。現在までの検討状況を伺いたい。

教育長 教育委員会としては「高山小学校PTAスクールバス運営委員会」において方向性が出れば、それを認めるということで何回か開催されている。

報告を受け、教育委員会事務局で運行可能かどうか検討し、小学校に回答をしていく段階となっている。10月中旬くらいまでには決定されるのではないかと思います。



小学校スクールバス（令和6年度導入）

投票所の集約、不具合や問題点は？

平形玉緒 投票所が3箇所に集約、不具合や問題点はなかったか。

総務課長 今年7月に参議院議員選挙で適用したが、大きな問題なく済んだと認識している。

平形玉緒 投票所への送迎を行ったと思うが、利用状況は。

総務課長 利用は5名。内訳は第1投票区4名、第3投票区1名であった。

平形玉緒 有権者の中には18歳の高校生や高齢者もいる。重要な交通手段だと思うので、今後ともお願いしたい。



役場敷地内に設置された「第2投票所」

東西スポーツ広場の管理は適正か？

唐澤徳治 グラウンド部分の整備管理は非常によく行き届いていると思う。

最近、大雨などで樹木の倒木が起きている。老木になった樹木の管理はどのように考えているか。

教育課長 現状、倒木や落下の危険のある枝の処分は状況に応じて行っている。東西スポーツ広場は、小学校の跡地ということで桜の木が多い。開花を楽しみにしているので、現在のところを伐倒等は考えていない。

ただし、危険な状態が確認された時は、早急に伐倒させていただきたい。



東地区スポーツ広場

村営住宅の見直し時期は？

飯塚武久 村営住宅について、その在り方を見直す時期に来ているのでは。

村長 議員ご指摘の通り、施設の作りがニーズに合っていないものや老朽化が進んでいるものもあり、そのあり方を今後考えていかなければならないと思う。

今後の村営住宅のあり方としては若い世代や移住希望者のニーズや要件に合ったものとし、少しでも人口減少に歯止めのかかるものとしたい。

飯塚武久 今後のことを考えて、なるべく早い時期に方針を定めていただきたい。そして出来るだけ入居希望者のニーズに合った形で若い人が多く居住するなど、将来に希望の持てる形で検討していただきたい。



村営住宅

総務 文教

委員会報告
本会議 9月6日

高山小学校・中学校 現況施設 視察

第1回定例会・一般質問において、村長から「人口減少を見据え、義務教育学校を含めた教育改革に来ている」との答弁がありました。

総務文教常任委員会では、今後、この議論を進める上において、各委員が状況を把握しておく必要があるため、7月15日に「小学校と中学校」の現況施設視察を行いました。



改修された小学校児童用玄関



中学校では校舎と体育館（武道館）の耐震工事の様子が確認できました。【写真上】

小学校については「役場庁舎整備調査事業費」に、小学校の耐震面等の調査が含まれていることから、校舎の老朽化等の判断は、その調査結果によるものと考えます。

最後に、総務文教常任委員会では、教育改革における今後の計画等について慎重な検討はもちろんのこと、子どもたちの学ぶ環境を十分考慮しながら検討しなければならないと考えます。

委員会等の動き

ここでは、委員会等の内容についてご紹介いたします。

農林建設 常任委員会

7月15日

農林建設常任委員会が所管する事項は農業などの産業振興対策から道路水道などのインフラ対策など多岐にわたります。

今後の活動テーマとして、村の最大の課題となっている「今後の農業の在り方を研究・検討」していく事を決めました。

9月8日

村の基幹産業である農業の継続的発展を目指し、最大の課題である担い手の確保と農地の有効利用を実現するための具体的な方法を検討して行くにあたり、これに関わる県内外の情報収集を進めることとしました。

まず、県内の先進地視察を行うことを決定しました。(11月10日、高崎市及び藤岡市の事例を視察予定)

また、今後視察結果など情報収集を進めながら、今後の具体的な方向性を執行部と共に調査研究を進めていくことを確認しました。



議会広報編集 特別委員会

7月2日 95号・第6回編集会議

一般質問、議案質疑の掲載内容を検討

7月10日 95号・第7回編集会議

表紙・特集記事、議案質疑の掲載内容を検討
誌面レイアウトの検討

7月17日 95号・第8回編集会議

相互読み合わせによる最終校正

9月定例会前後の次号編集日程の調整

今後の特集記事と取材等の検討

全国町村議会広報研修会受講打ち合わせ

9月2日 96号・第1回編集会議

広報研修の振り返りと特集記事の検討

9月8日 96号・第2回編集会議

ページ割り振りと特集記事内容の検討

9月17日 96号・第3回編集会議

議案質疑の掲載記事を検討

9月25日 96号・第4回編集会議

群馬県町村議会広報研修会受講打ち合わせ

表紙写真と取材調整、次号以降の特集内容を協議
議案質疑、委員会報告の掲載内容を検討



村長にきいてんべえ！

一般質問

定例会において議員が行政全般にわたり村長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めることをいいます。

なお、効率的かつ充実した議会運営を行うため、通告することになっています。

- | | | |
|----|---------------------|----------|
| 01 | 簡易水道事業の課題について | 渡邊 裕治 議員 |
| 02 | 効率的、効果的な行政を目指し行政評価を | 飯塚 武久 議員 |
| 03 | 自然災害による死者ゼロへの対応は | 山口 英司 議員 |
| 04 | 鳥獣害対策について | 後藤 肇 議員 |
| 05 | ゼロ・カーボン対策について | 松井 陽威 議員 |

一般質問の質問・答弁全文は、議会ホームページの会議録からご覧いただけます。

01

簡易水道事業の課題について

【村長】 次期経営戦略で検討していく



渡邊 裕治 議員

〈議員〉 簡易水道事業の課題について伺う。

〈村長〉 現在、次期経営戦略を策定中で、その中で検討をしている。施設の老朽化への対策、これからの人口減少に対する配水池へのダウンサイジング*化、使用料の安価設定による経営の圧迫、他自治体との広域化などが挙げられる。容易には行かないので、その都度、よく説明をして理解を得ながら進めたい。

〈議員〉 今回、判形地区でポンプ故障が起き、復旧までに住民に節水を呼びかけ対応された。

災害などでも断水が起こりうる。起きた場合の「村が想定している対応方法」なども事例を踏まえ、周知いただきたい。

住民と一緒に今後を考える材料として、先ほど答弁された課題と共に、しっかりと「経営戦略」の広

報をお願いしたい。

また、水道事業における人材育成についてはどう考えているか。

〈村長〉 担当が1人という状況なので、多くの職員が水道事業に関する知識を持てるよう、職員間での連携を強化できる人員配置も検討事項としたい。

〈議員〉 生活に重要なインフラなので、管理体制の見直し、人材育成、DX活用による負担軽減、住民に対する広報など、しっかりと構築いただきたい。

情報共有、アドバイザーから話を聞く機会があれば、私たち議員も一緒に学ばせていただく。

*「ダウンサイジング」とは、広域受水や管路の統合・減径・単管化などを進めることで、水道施設の全体的な効率化を図る取り組み



02

効率的、効果的な行政を目指し行政評価を

【村長】客観的評価により改善を図っていききたい

〈議員〉 少子高齢化が進む中で、これまで以上に行政を効率的、効果的に進める必要があるが、そのためには行政評価を進めることが必要不可欠であると思う。本村の行政評価の現状についてお尋ねしたい。

〈村長〉 平成 29 年度に専門家による行政のマネジメント診断を実施、結果行政運営が組織的なされておらず全庁的に取り組むべきとの診断を受けた。

このことから、令和元年度から行政評価の手法について試行錯誤しながら進めており、現在では前年度の事業評価をして、その結果を次年度予算に反映させるなどの改善を図ってきている。

今後は、客観的評価による事業の見直しにつなげるなど、引き続き実のある行政評価の推進に向け努力して行きたい。

〈議員〉 職員数も限られる中において行政評価自体を効率的に進めるために、1 点目として、何のために行政評価を行うかを明確にし、職員が主体的に取り組める仕組みを作ること。

2 点目として、現在実施している計画の進行管理や予算決算のマネジメントなどを行政評価として移行させていくなど、高山村独自の効率的な方法を考えていただきたい。



03

自然災害による死者ゼロへの対応は

【村長】地区防災計画により対応したい

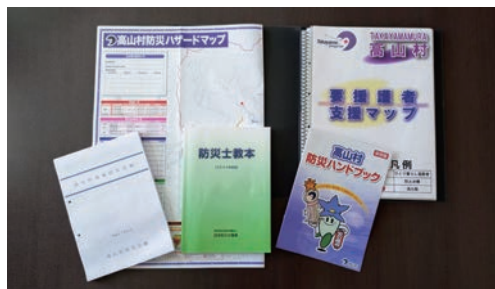
〈議員〉 住民が主体となった地区別防災計画の策定と、防災士を育て災害への対応力強化を図る必要性について、村の考えは。

〈村長〉 地区防災計画の目的は、自分達で作成することで、より実効性のある計画となり、計画策定を通じて住民ひとりひとりが、「自分や家族の命は自分で守る」という意識を強く持っていただくことを基本方針としている。

災害発生時には、「自助」「共助」が大変重要になる。防災士の方には、その知識を生かし、地域防災力の向上に力添えをいただきたい。

現在まで、村の防災士は 9 名を把握しているが、今後は一人でも多くの方に、防災士の資格を取得していただき、行政区単位の地区防災計画が出来るよう取り組んでいきたい。

〈議員〉 近年の激甚化する災害に対し、村民の防災意識向上を図るだけでは、取り組みとしては消極的なことから、行政の積極的な支援が必要となる。高山村は災害が少なく安全・安心な村という感覚があるが、「天災は忘れたころにやってくる」と言われている。地区防災計画を策定し、いざと言うときに、効果的な防災活動ができる体制を整えておくべきと考える。



【村長】電気柵拡充は課題、捕獲要員の確保も



後藤 肇 議員

〈議員〉 鳥獣被害は年々増加傾向にあり、各家庭の自家用で作る物に限られているため、被害把握が難しいと思われる。被害減少に向けた、有資格者による捕獲器材の設置、管理維持に際しての支援施策の検討について伺いたい。

〈村長〉 販売を目的とした、ある程度の面積を栽培している圃場は、すでに電気柵が設置されて、相当程度防げている。自家用のみ家庭栽培は、電気柵設置などの対策がしておらず被害を受けたと聞いている。

販売による農業経営要件や、原則2戸以上の共同設置要件により補助対象とできないこともあり、今後の検討課題としたい。

高山村鳥獣被害対策実施隊は現在27名で、内訳は、銃器とワナによる有害捕獲が12名。銃器のみ

が2名、ワナのみ10名、モンキードッグの管理が3名となっている。捕獲機材についても、ワナ免許所有している隊員に1人最大30基のくくりワナを貸与し、小動物用のオリも貸し出ししている。

年間を通して、見回り部分で1ヶ月5,000円、有害鳥獣捕獲の場合、イノシシ1頭19,000円、シカ、サル、クマ1頭15,000円の奨励金を行っている。

人間の生活圏に出没しにくい環境を整備することが必要と考える。有害鳥獣捕獲は緊急、かつ、必要なことであり、業務を担う実施隊員の役割は大変重要であると思っている。被害防止の観点から、適切な有害捕獲を継続していくために、適切な処遇を維持して、実施隊員の確保に努めたい。

【村長】3つの施策で対応を



松井 陽威 議員

〈議員〉 本村では、2050年に向けた「たかやま5つのゼロ宣言」の中で温室効果ガス排出ゼロを提唱しているが、具体的な取り組みについて伺いたい。

〈村長〉 同宣言については、水資源・森林資源・再生可能資源を最大限活用し、温室効果ガスの排出量をゼロにするとして、

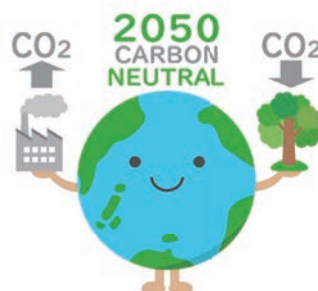
1. 森林整備も推進による環境型社会の構築
2. 再生可能エネルギーの促進
3. 省エネ・節減電対策のさらなる推進

(令和5年4月からカーボンニュートラル通信により村民に対する周知・啓発活動を実施中)

また、本年度予算において、村内公共施設のエネルギー運用計画を策定する考えである。

〈議員〉 本村の「CO₂」年間排出量2,500トン中55.7%を占めるのが「ふれあいプラザ」とのことであり、村の中心地づくりとも関連することなので、十分な検討を願う。

毎年異常な暑さの夏が訪れ、動植物の健康生育に影響が出てきている昨今、地球環境の回復のため、この問題に真剣に取り組んでいただきたい。



議員研修

議会議員の資質向上のため、
各種の研修へ参加しています。

令和7年度町村議会広報研修会

令和7年8月28日、全国町村議会議長会主催の「令和7年度町村議会広報研修会」が、東京のLINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）において、を開催されました。

議会広報委員5名で参加し、広報コンクールの
トップランナーから指導を受けました。



参加した各委員の感想

令和7年度 町村議会広報研修会

令和7年
8月28日 木 13:00～16:40 (正午休憩) 会場 LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂) (東京都渋谷区宇田川町1-1-1)

13:00～14:00
「インタビュー記事を足して 読まれる広報紙にしよう」
インタビューライター 丘村 奈央子 氏

【略歴】
1973年長野県生まれ。広告営業職、編集職などをを経て2010年からフリーライター。主に企業サイトの導入事例・社員紹介・経営者コラム、その他書籍などを執筆。インタビューや人物取材では「気持ちよく話してもらおう」のが信条。著書に電子書籍『人生が変わる会話術』(ごきげんビジネス出版)、書籍『話すは1割、聞くは9割』(大和出版)。オンライン学習サイトUdemyで展開する「聞き上手講座」はBusinessコレクションにも選出されている。

14:00～14:20 休憩

14:20～15:20
「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本
～一人でもできる撮影ノウハウ、インタビュー撮影技術～」
映像講師・映像ディレクター(公社)日本広報協会 広報アドバイザー 渡川 修一 氏

【略歴】
1975年広島県生まれ。1994年にビデオカメラ1台で映画制作を開始して以来、制作経験は30年以上。企業、行政向けに多数の動画制作を担当し、初心者の「わからない」を「できる」に変えてきた。専門用語を使わず分かりやすい教え方が特徴。初心者向け映画制作ワークショップを全国で20年以上開催。スマホ動画に関する連載や執筆活動も。著書は『iPhoneでお金をかけずにビジネス動画を作れるようになる本』(ペンコム)他。

15:20～15:40 休憩

15:40～16:40
「議会活性化と連動した広報紙づくり
～住民の政治参加をうながすツールに～」
福岡県大刀洗町議会 議会広報委員会 委員長 平山 賢治 氏

【略歴】
1970年生まれ。建設労働組合の事務局を経て、1999年の町議選で初当選(29歳)し現在7期目。広報委員長を長年務め、2015年度からは10年連続で全国コンクール入賞中。広報や議会活性化に関する提案を多数受け入れるとともに、県内外の市町議会や議長会に招かれ講師も務めている。他に議運副委員長、福岡県介護保険広域連合議員など。



住民に読んでもらえる議会広報誌を目指し
議員全員で奮闘中、研修を受講する度に、
「まだまだ」との思いが。
(松井陽威委員長)



お堅いイメージの広報を読んでもらうには
表紙で目を引き内容に誘導する女性雑誌
の要素が必要なのだと感じた。若い人たちに
読んでもらうには今や動画やSNSへの
誘導は必須である。(平形玉緒副委員長)



開かれた村政のためには読まれる広報誌づ
くりは待ったなし、時代に合わせて写真や
動画のでの情報発信を積極的に。
(飯塚武久委員)



「インタビュー記事では、あえて方言や独
自の言い方を残す」なるほどと思える部分。
広報委員としての苦労は皆似ていると思い
つつ、写真や動画がスマホでできることを
知りまずは自分のスマホを使いこなさなけ
れば、と日々格闘中である。(唐澤徳治委員)



大刀洗町議会の広報委員長の話は、とても
参考になった。議会広報誌のみならずS N
S媒体などの活用で住民の政治参加を促す
ツールとして学ぶべき点は多くあった。
(渡邊裕治委員)



2025年7月から9月までの 議会活動 をお知らせします

- 7月2日 議会広報編集特別委員会
- 4日 ふるさと祭り実行委員会
- 5日 原水爆禁止国民平和大行進
- 8日 町村課長・事務局長研修（事務局長）
- 10日 議会広報編集特別委員会
- 15日 総務文教常任委員会・管内視察
- // 全員協議会
- // 農林建設常任委員会
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 22日 定例監査（監査委員）
- 30日 上信自動車道建設促進期成同盟会総会（東京都）



全員協議会



ふるさと祭りで挨拶する
後藤明宏議長

- 8月1日 全国町村議会・事務局職員研修会（東京都）
- 4～
- 7日 決算審査（監査委員）
- 11日 ふるさと祭り
- 15日 町村監査委員研修会（前橋市）
- 18日 定例監査（監査委員）
- 26日 議会運営委員会
- 27日 給食センター運営委員会
- // 吾妻広域町村圏振興整備組合議会（中之条町）
- // 吾妻環境施設組合議会（中之条町）
- 28日 全国町村議会広報研修会（東京都）
- 29日 全員協議会

- 9月2日 議会広報編集特別委員会
- 3日 第3回定例会 本会議①
- // 提出議案調査
- 4日 中学校体育大会
- // 第3回定例会 本会議②（一般質問）
- // 提出議案調査
- 5日 提出議案調査
- 8日 提出議案調査
- 農林建設常任委員会
- 議会広報編集特別委員会
- 9日 吾妻郡知的障害者福祉月間記念行事
- 16日 第3回定例会 本会議③
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 18日 吾妻東部地区フレンドシップ国際協議会定期総会（中之条町）
- // 東吾妻暴力通報連絡協議会通常総会（中之条町）
- 19日 定例監査（監査委員）
- 21日 小学校運動会
- 22日 戦没者追悼式
- 23日 吾妻地区交通安全大会
- 25日 議会広報編集特別委員会
- 26日 こども園運動会
- 29日 群馬県町村議会広報研修会（前橋市）
- 30日 吾妻東部衛生施設組合議会（中之条町）



小学校運動会



こども園運動会

特集

定例会

一般質問

委員会

議会の動き

お知らせ

定例会のお知らせ

令和7年第4回定例会 (本会議の予定)

初 日 12月3日(水) 午前10時～
一般質問 // 午後1時30分～
最終日 12月9日(火) 午前10時～

◇議会を傍聴してみませんか◇

傍聴席の出入りは自由で、本会議中でも入退室ができます。(定員18名/先着順)

最新情報は、議会ホームページにてお知らせしています。スマートフォン等からは表紙の二次元コードからどうぞ。



大会宣言

交通事故を防止し、安全なふるさとを守っていくことは、吾妻地区に住む私たちの心からの願いです。
私たちは、この交通安全大会に参加するにあたり「危ないよ スヤッぽっかり 見てる君」をスローガンに、交通事故のない安全な住みよいふるさとを作るため、それぞれの立場で、次のことを実践することを誓います。

- 一、私たちは、夕暮れ時・夜間外出するときは、反射材を身につけ、横断歩道を必ず渡り、交通事故の被害に遭わないように努めます。
- 一、私たちは、子どもや高齢者を交通事故から守るため、あらゆる機会を通じて、交通安全ルールを守る大切さと交通事故の危険さを呼びかけ、吾妻地区に住む住民一人一人の交通安全意識の向上に努めます。
- 一、私たちは、家庭・学校・職場・地域から交通安全の心を広げ、更なる交通安全活動を展開し、悲惨な交通事故の減少に努めます。

以上宣言します。

令和7年9月23日



広報委員の取材日記

3年に一度回ってくる交通安全推進本部。

今年度は高山村ということで「吾妻地区交通安全大会」が道の駅中山盆地を会場に初めて野外で行われました。

優良者表彰に始まり警察音楽隊による昭和の歌謡メドレー…行き交う人が足を止め聞き入っている姿に「こういう場所で行うのもいいもんだなあ。」とつぶやく自分がいました。

そして、最後に高山中学校生徒会長、吾妻安全協会女性部長、高山村老人クラブ連合会長により声高らかに発せられた交通安全宣言。ここに一部掲載させていただき交通事故のない社会になるよう努めたいと思います。

ご意見・ご要望などはこちらから

今回発行の96号についての感想や、今後、議会広報の特集で取り上げてほしい内容などございましたら二次元コードを読み込んで「専用入力フォーム」よりお送りください。このほか、FAX・Eメールなどでもお待ちしております。

今号についての意見募集は、令和7年11月30日(二次元コード有効期限)までとなります。



Vill-Takayama Council NEWS TsuNaGu

議会広報つなぐ vol.96

2025(令和7)年11月1日 発行 通算96号

発行:群馬県高山村議会 編集:議会広報編集特別委員会 発行責任者:議長 後藤 明宏

〒377-0792 群馬県吾妻郡高山村大字中山2856-1 TEL 0279-63-2111(代) FAX0279-63-2768

[群馬県高山村議会]で[検索] E-mail info@vill.takayama.gunma.jp